

【KOTOBUKI Medical 株式会社】

「内視鏡遠隔ハンズオンシステム」の開発

開発のねらい

コロナ感染等により、学会やセミナーで対面・リアルでの手技指導が難しくなっている事に対して、オンラインでスムーズな手技指導が行えるシステムを開発し、遠隔での内視鏡トレーニングを実現させる。

開発の概要

当社の手術トレーニング製品開発製造ノウハウと、国立がん研究センター東病院の内視鏡治療教育における知見、遠隔医療システムを手掛けるボーダレス・ビジョン㈱の開発力を融合し、ハードウェア(器材)とソフトウェアが一体となった内視鏡治療における遠隔指導システムの開発

特長

食品素材のVTI粘膜モデルを使った胃カメラポリープ切除トレーニング装置「G-Master」は、当社と国立がん研究センター東病院が共同開発し、国内外に全く新しいトレーニング装置として広まりつつある。本開発品は、その指導を簡便に遠隔で行うことが可能で、インターネット回線を通じて、見やすい画面構成、タッチパネル&アノテーション機能、遅延の少ない高解像度の映像配信などが特徴である。

用途

学会等の遠隔ハンズオンセミナー、指導医のいない環境での遠隔指導、海外へ向けた日本の内視鏡医の指導教育、



お問い合わせ先

【所在地】 〒340-0816 埼玉県八潮市中央4-7-3

【連絡先】 TEL 048-951-5211 FAX 050-3588-1032 代表:高山
<https://kotobukimedical.com/>



令和4年度 埼玉県社会課題解決型新技術・新製品開発支援事業